



Parent-Teacher Association

活動報告

進路対策委員会

平成30年4月21日(土)に、五十嵐敦氏(福島大学総合教育研究センター教授)より「進路の選択と形成に関わる心理」今、高校時代にできることは何か?」のご講演をいただきました。生徒と保護者が一緒に聞く機会を設けることができました。平成30年6月28日(木)に、山形大学への視察研修を実施しました。山本教授より大学概況の説明と入試について説明がありました。また、山形大学の学生の案内で、学校施設(付属博物館、小白川図書館、食堂、学生生協等)を視察することができました。



▲建設中の体育館



▲建設中の新校舎を取材

今年度も、年に2回の広報誌の作成と、福島県広報誌コンクールへの参加を予定しています。そのための活動として、7月18、19日に行われた校内文化祭内の取材や、現在建設されている新校舎での取材を執り行いました。みなさんに学校の近況等が伝わるような広報誌づくりを目指して、活動しています。

調査広報委員会

健全育成委員会

今年度、健全育成委員会の中心的な活動として、朝のマナーアップ運動と、広野町内のお祭りの巡回指導を行いました。前期の朝のあいさつおよびマナーアップ運動は、夏服の衣替えにあたる6月1日と、未来創造探究の研究発表会および相双地区PTA研修会で行われた9月19日に実施しました。2日間でのべ14名の保護者の方のご参加をいただきました。子ども達が元気なあいさつをしてくれ、非常にうれしく感じました。また、8月11日に二ツ沼総合公園で行われた広野サマーフェスティバルでは、4名の保護者の方が巡回に協力してくださいました。巡回の中で、吹奏楽部の素晴らしい演奏や、社会起業部の店舗販売などを見かけ、本校生が活躍している姿をうれしく感じました。後期もしっかりと活動していきたいと思えます。



「ライデン・スクール」(メールによる情報配信)導入について

3月1日より、本校の緊急連絡用メールシステムは、「ライデン・スクール」に移行しました。旧サービスからは自動的に削除されますので、お早めに新システムへの登録をお願いします。

登録のしかた

- ① p.futabamirai-shs@s2.ktaiwork.jpに空メールを送信してください。
- ② 返信されたメールに記載されたURLからアクセスしてください。
- ③ 登録画面が表示されますので、生徒の氏名を入力し、該当する校舎・年次にチェックを入れ、「登録」ボタンを押してください。(寮生は、「立志寮」へもチェックをお願いします。)
- ④ 本登録完了メールが受信されれば、登録完了です。

※迷惑メールフィルタを設定していると受信できません。事前にドメインからのメール受信を許可するよう、設定変更をお願いします。

※この連絡網は株式会社ライデン・スクールによるもので、上記目的以外では使用しません。また、メールアドレス以外の個人情報は一切必要ありません。

編集後記

ふたば未来学園も初めての卒業生を送り出し、四年目を迎える、会報「翔」第七号を発行することができました。先日は三校舎合同の校内文化祭が行われ、広報委員として写真撮影をさせていただきました。子ども達一人ひとりの文化祭を楽しんでおりました。また、ふたば未来学園として最大のイベントである新校舎の建設現場を見学させていただきました。

PTA役員紹介

■総務委員会
会長 高橋 晃
副会長 根本 清弘
新妻 邦夫
上田 佳子
高橋 敏幸(教頭)

監査 上野富由子
渡邊 晶子
吉田ゆかり

■進路対策委員会

委員長 水井 邦彦
委員 上遠野多美子
渡部 一八
松岡 昌代
酒井 祐一
志賀 幸
千葉 恵美子
猪狩 真澄
後藤 丈博
駒林 園絵

■健全育成委員会

委員長 山口 仁子
委員 伊藤 恭子
渡部 幸代
宇佐美 恵美子
高村 勲
藤田 紗織
康昭 代
志賀 洋司
満山 雅司
吉田

■調査広報委員会

委員長 志賀みつえ
委員 三男 淳
遠藤 美和子
和田 成美子
草野 亜紀子
千葉 香奈
垣下 美紀
塩田めぐみ
畠山 敏枝
山下 浩二

9月19日(水)にふたば未来学園高校3学年の未来創造探究研究発表会が行われ、ここにあわせて相双地区PTA連合会の研修会が行われました。前半は体育館で未来創造探究という授業の研究発表会を聴講しました。地域の課題を解決するために生徒自身が取り組んだ

ことを発表しており、地域復興や産業再生など様々な観点から興味深いアイデアを提示していました。後半は場所を移動し、相双地区のPTA研修会の会議を行いました。ふたば未来学園高校の取り組みや、昨年度の進路実績など、興味深いお話を伺うことができました。また、地区で共有したい課題を話し

合う機会も設けられ、他の高校での取り組みについて、参考となる意見もいただきました。最後に、速くからわがわがの役員の方々、本場にありが



「私たちは、いわば、二回この世に生まれる。一回目は存在するために。二回目は生きるために。」 (ルノー「エミール」より)

青

年期の最大のテーマは「自己」です。自分は何んな人間なのか? 生きる目的は何か? 自分は価値ある存在なのか? 生きていて何の意味があるのか? こうした問いに思い悩むのは当たり前であり、とても大切なことですが、悩んでいる本人にとっては出口の見えない迷路のようなもので、苦しいものです。また、過去の様々なつらい出来事やハンディが自分の足かせとなり未来への展望も開けないでいる生徒もいると思えます。

しかし、決して希望を失わないでほしいと思います。明るい太陽の下では決して見えない光や明かりがこの世にはちゃんとあり、暗闇をくぐり抜けた者にしか見えない世界がこの世にはちゃんとあるのです。

ただし、自分の中をさまよい歩き堂々巡りをしているだけでは、けっして見つからず、迷路から出ることはできません。大事なのは、自己から出発しながら、他者との出会いを通して自己としっかり向き合い、夢を実現していくために自分を変えることです。どんな人も他者から承認してもらいたいのです。そうして初めて自分を認めることもできるのです。「自分らしく生きる」ということは、「社会」や「他者」との関係に苦しみながら、自分を変えていく道のりです。

暗闇でもがいている人は、二回目の誕生への道のりを歩いているのです。そうした一人一人の大人への歩みを保護者の皆さまと協働して支えていければと思います。



ふたば未来学園高等学校 校長 丹野 純一



1年1組



1年2組



1年3組



1年4組



1年A組 三島長陵校舎



1年B組 猪苗代校舎

祝入学

今年度も、新入生148名が入学しました。第四期生となる新入生たちは、二年次から新校舎で授業を受けることとなります。新しい校舎とともに、どのような新しい風を巻き起こすのでしょうか。

本校舎

開校四年目を迎えた本校舎ですが、平成31年4月から新校舎へと引越すために、様々な準備をしています。そのなかで、現在使われている校舎を広野中学校へ返還するための改修工事を行っています。壁の塗りなおしや床板の張替えなど、現在の校舎がきれい生まれ変わっているところです。新校舎への移動は現在の校舎との別れを意味しているもので、そうした寂しさはありますが、その記憶はずっと残り続けていくと思います。現在の校舎さん、あと半年ですが、お世話になります！

三島長陵校舎

JFAアカデミー福島に所属し、サッカーのトップアスリートを目指す三島長陵校舎生。今年度は22名が加わり、3学年62名で活動しています。普段は午前中に学校で授業を受け(曜日、学年によっては午後まで)、午後にはトレーニングを行う生活を送っています。県や東海、全国相手に戦うかたわら、日本代表で活躍している生徒もいます。個性豊かな生徒が切磋琢磨しつつ日々の生活を送っています。

猪苗代校舎

バドミントンのトップアスリートを目指す生徒が在籍する猪苗代校舎。今年度は新たに1年生8名を加えた25名で活動しています。国内大会での上位入賞を目指すだけでなく、国際大会で活躍することを目的とし、生徒同士が切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいます。

新校舎建設現場を見学しました！

平成31年4月から利用されるふたば未来学園新校舎の建設現場取材を行いました。57485.78平方メートル(東京ドームがすっぽりおさまるくらい)の広い敷地の中で、多くの人が夢を形作る作業に携わっていました。骨組みが形づくられた箇所、屋根が完成した箇所、室内のおおまかな様子が分かる箇所など、順調に工事は進んでいました。お忙しい中、案内をしていただいた工事関係者の方々、本当にありがとうございました。



新校舎について

未来創造探究をはじめとして、現実社会の中でコミュニケーションや世界と共に学ぶ、ふたば未来学園。ということは、学校の建物も、コミュニケーションや世界の方と協働できる空間になることが自然です。「平日の昼間に生徒だけが使う」という「校舎」の概念を塗り替えていく、世界最先端の新しい「校舎」の完成が近づいてきました。

建物が連なる街路を進むと、生徒たちが経営するカフェにたどり着きます。生徒たちはもちろん、保護者や地域の方々も利用できます。ここにはNPOカタリバの方が常駐しており、「みらいラボ」として、放課後に自由に過ごしたり、ほっと一息ついたり、町の

新校舎に向けて

この度、ふたば未来学園高校の校舎の新設にあたり、多くの方々のご支援、ご協力をいただきました。私が入学する以前から建設予定のあった校舎がやっと完成するということが、新校舎を拝見できるという嬉しさと、新校舎で生活してみたいという気持ちがあります。後輩たちには、



ふたば未来学園高校生徒会長 中島 蓮
 建築の精神にある「変革者たれ」という言葉の通り、生徒同士が意見を出し合い、新しい伝統を作っていただいたいと思います。ふたば未来学園が良い方向に進んでいくことを期待しています。



留学生が来ました。

このたび、本校ではじめての留学生がいらっしゃいました。その子をご紹介します。
 アジア高校生架け橋プロジェクトにより、マレーシアよりいらつしました。期間は約半年で、来年2月まで本校で学習します。2年次のクラスに所属し、早速クラスメイトとも打ち解け、新鮮な学校生活を送っています。

インドラさん

Thelaganathan Indrah
 (マレーシア出身)



はじめまして、わたしはインドラです。マレーシアからきました。十六さいです。しゅみはえいがを見ることです。すきなえいはモアナです。モアナは、ディズニーのえいがです。ここにきたもくときは日本語を学ぶためです。わたしは修学旅行がたのしみです。そこでは、たくさんのおもいでをつくりたいです。また、きゅうぎたいかいもたのみにしています。バレーボールとドッジボールをがんばります。はんとしかん、よろしくおねがいします。

International student from Malaysia

女子U-20 W杯優勝！

今年度の三島長陵校舎生は、男女ともリーグ戦では上位に位置するなど、順調な結果を残しています。男子のトップチームは現在プリンスリーグ東海3位で、2位まで参加できるプレミアリーグ昇格戦に向け日々努力を積み重ねています。最後の2試合が上位校との直接対決になるため、負けられない試合が続いています。男子のチャレンジチームは静岡県スルガカップBリーグに所属し、現在はリーグ3位です。

女子はなでしこプリンスチャレンジリーグ(WEST)2位という結果を残し、上位リーグとの入れ替え戦に挑戦しています。また、今年初開催のクラブユース女子サッカー大会で優勝を果たし、キャプテンの3年根津茉莉がMVPに選ばれるなど、輝かしい成績を残しました。そして、3年の遠藤純が代表として招集されたU-20女子W杯フランス2018は、悲願の初優勝を果たしました。遠藤は最年少ながら全試合に出場、2ゴールを決めるなど、チームの初優勝に大きく貢献しました。



大会結果

三島長陵校舎

JFAアカデミー福島

男子

- 高門宮杯 JFA U-18 サッカープリンスリーグ 2018 東海 8月26日現在 6勝3敗1分で3位
- 高門宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ2018静岡・スルガカップ Bリーグ 8月26日現在 7勝2敗4分で3位

女子

- 2018プリンスチャレンジリーグWEST 7勝5敗3分で2位 (プリンスチャレンジリーグ1~4位決定戦に出場予定)
- 日本クラブユース女子サッカー大会U-18 優勝

日本代表

- FIFA U-20女子ワールドカップ フランス2018 女子1名がU-20日本女子代表として参加し優勝
- 第5回WAFF U16ボイズチャンピオンシップ2018 男子2名がU-16日本代表として参加し優勝
- 第3回アデルナツィオーニトーナメント 女子4名がU-16日本女子代表として参加し2位

静岡代表

- SBSカップ国際ユースサッカー 男子2名が静岡ユースとして参加し3位
- 国民体育大会 第39回東海ブロック大会 男子3名が静岡県代表として参加し、国体出場権獲得

猪苗代校舎

- アジアジュニアU19選手権2018(7/14~7/22) [国別対抗戦]第2位 水井 ひらり・福本 真恵七・内山 智尋 [女子シングルス]第3位 水井 ひらり
- 第69回全国高等学校バドミントン選手権大会(8/5~9) [女子団体]優勝 [女子シングルス]優勝 水井 ひらり ベスト8 染谷 菜々美



第69回全国高等学校バドミントン選手権大会

保護者のみなさん！

「学校へいっしょに！」
 from PTA



PTA会長 高橋晃

早いもので開校から四年目。来春には二期生が卒業すると新校舎が完成し、新たに中学生を迎え入れ併設型中高一貫校としての出発を果たすこととなります。今年一年も、さまざまな準備のため慌ただしい一年となりましたが、学校内外で行われる行事は予定通りに進んでおります。つい最近では猛暑の中、生徒会主催の三校舎合同の校内文化祭が開催され、保護者のみなさんにもご観覧いただきました。(来年は公開文化祭になります) 生徒たちは、元氣一杯に演劇、ダンス、コント、体験型の発表など楽しんだ文化祭となりました。あらためて高校生パワーをみる事ができました。

今後も様々な行事が続きます。保護者の皆様もぜひ学校へ足を運んでいただき、外見だけでなく、内面も大きく変わるふたば未来学園「建学の精神」でもある「変革者たれ」を生徒たちと一緒に体感しましょう。保護者と教師の会でも保護者が参加しやすい会の実現を目標に各委員会のみなさんと話し合い、教職員との連携をとりながらこの一年、会の運営にあたりたいと思います。寮生も多い、ふたば未来学園は子供と関わる時間も限られています。保護者が学校へ赴き行事に参加する機会をつくることで学校での生活、寮生活を垣間見ることができるようではないでしょうか。

私たち保護者も、生徒たちとともに建学の精神を学び、これからの行事へ保護者のみなさんが参加されることを歓迎いたします。

VOICE!

三島長陵校舎 猪苗代校舎 学生の声
 平成三十年度前期を振り返って
 三島長陵校舎 1年 小久保響

私たち高校二年生は、四月に入学期、中学校とは違うことで、初めは慣れない部分もありました。授業時間が長くなったことや、サッカーでのスピードの速さやフィジカルの強さのレベルが高校生では違っていることを実感しました。

しかし、今では高校での生活にも慣れてきました。おもしろい先生の授業など、仲間と協力しながら勉強できています。また、サッカーでは、当たり前負けすることもありましたが、高校生のスピードやフィジカルにも慣れてきました。

後期はさらに授業にしっかりと取り組み、より成長していきたいと思っています。

前期を振り返って

猪苗代校舎 1年 阿部大輔
 高校での生活は主体的に動くべき場面が多い分、みんな協力しながら楽しく過ごすことができました。日々の練習はとても大変ですが、学校や寮で仲間と共に勉強や娯楽に没頭する時間は、大切な時間です。

印象に残っている学校行事は、磐梯登山です。猪苗代のシンボルである磐梯山は、標高が1816mもあり、頂上まで行くのはとても疲れ、あいにく天気にも恵まれませんでした。頂上で食べた昼食はおいしく、行事終了後の充実感はこの上ないものでした。

平成30年度
三校舎合同

校内文化祭!

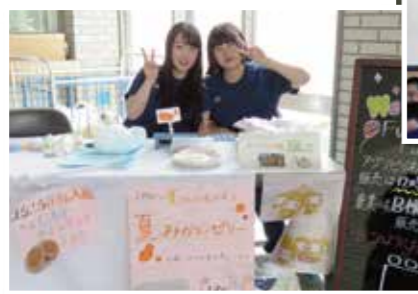
平成30年7月18日、19日に、本校舎体育館にて二日間に渡り、校内文化祭が行われました。

1日目。午前中は生徒会主催で、3校舎の生徒達の気持ちをつなぐアイスブレイクを行いました。午後からは、演劇部や吹奏楽部、社会起業部といった本校舎文化部の発表を行いました。

2日目。午前中は3校舎それぞれのクラス発表が行われました。演劇、ダンス、コント、体験型の発表など、生徒達が楽しめる企画を各クラスで準備し、披露しました。午後からは、有志発表が行われ、音楽やダンス、お笑いなどが披露されました。

また、この二日間では、スペシャリスト系列の展示が行われ、他の生徒が日ごろの授業の様子を知る機会となりました。

全国的な猛暑で熱中症対策を取りながらの開催でしたが、みんな元気に楽しんでいました。本当に、お疲れさまでした。



文化祭を振り返って(1年次)

1年2組 蓮沼麗奈
私達二年生にとって、ふたば未来学園に入学して初めての文化祭でした。HR長を中心として、各クラスで出し物を決めていきました。全てが初めてだったので、決めるだけでも大変でした。それでも最高の文化祭にしようという一丸となつてすてきな文化祭を作り上げることが出来ました。この三日間はクラスの絆を深める貴重な時間となりました。入学して初めての文化祭は、私達にとつてとても良い思い出となりました。

校内文化祭を振り返って(2年次)

2年4組 渡邊美友
私達のクラスは、"It's a 24world"というタイトルでオリジナル劇を上演しました。なかなかアイデアが決まらず、結局練習をしはじめたのが本番の二週間前でした。ですが、毎日放課後に残つて皆で練習をしたり、意見を出し合つたりして、三十四人全員で劇に臨むことができました。本番では、思ったよりスムーズにいかなかったり、マイクのトラブルがあったりといういろいろありましたが、このメンバーでこのクラス発表ができ、よかったです。

校内文化祭を振り返って(3年次)

3年2組 吉田誠大
僕は、今回校内文化祭でクラス発表と有志発表の二つに出ました。クラス発表では、クラスメイト全員と、二から劇を作りました。時間が無いなかで大変でしたが、みんなで作り上げた劇は最高のモノとなり、よい発表ができました。有志発表では、江尻諒多さんと水井健二郎君との三人でお笑いとお歌を披露しました。とても恥ずかしかったけれど、観客が喜んでいたので、やってよかったと思えました。今回の文化祭も高校生活の思い出に残るものとなりました。次の球技大会も、みんなで楽しみましょう。

校内文化祭について

猪苗代校舎 2年 後藤サン
校内文化祭は2日間あり、1日目はアイスブレイク、文化部の発表がありました。普段関わることができない生徒と交流したり、演劇や演奏を生で見聞きできたので良かったです。2日目はクラス発表と有志発表がありました。クラス発表は、個性豊かな発表が見られて面白かったです。有志発表ではコントをしました。ステージに立つ前の緊張感や、観客の盛り上がりを感じて嬉しかったです。また、2日間とも、スペシャリスト系列農業の人が作ってくれたお弁当を食べることができました。とても美味しかったです。

「校内文化祭」について

三島長陵校舎 2年 三宅紗優
普段は三島にいるということで、あまり関わりのない本校舎のみなさんと関わりを持つことができて良かったと思います。クラスの出し物では、各クラスの特徴が出ていて見ているだけでもとても楽しめました。猪苗代校舎の出し物は、世界トップレベルの実技もあり、とても迫力がありました。また、参加型で、三校舎の仲が深まるような内容であり、よく考えられているなと思いました。演劇部の劇は、とても先進的だと思います。来年は新校舎での文化祭だと思いますが、三校舎で協力し合つて、今年以上のクオリティのものを作り上げていければいいと思います。